

第三級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

法

規

〔1〕 免許人が無線設備の設置場所を変更しようとするときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. あらかじめ指示を受ける。
2. あらかじめ許可を受ける。
3. 直ちにその旨を報告する。
4. 直ちにその旨を届け出る。

〔4〕 無線従事者が免許証を失って再交付を受けた後、失った免許証を発見したときは、発見した日から何日以内にその免許証を返納しなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 7日
2. 10日
3. 14日
4. 30日

〔2〕 陸上移動業務の無線局(免許の有効期間が1年以内であるものを除く。)の再免許の申請は、次のどの期間内に行わなければならないか。

1. 免許の有効期間満了前3箇月以上6箇月を超えない期間
2. 免許の有効期間満了前2箇月以上3箇月を超えない期間
3. 免許の有効期間満了前2箇月まで
4. 免許の有効期間満了前1箇月まで

〔5〕 第三級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局の空中線電力50ワット以下の無線設備(レーダー及び人工衛星局の中継により無線通信を行う無線局の多重無線設備を除く。)で外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができる電波の周波数の範囲は、次のどれか。

1. 1,606.5キロヘルツから4,000キロヘルツまで
2. 4,000キロヘルツを超え25,010キロヘルツ未満
3. 25,010キロヘルツから960メガヘルツまで
4. 960メガヘルツを超え1,215メガヘルツ未満

〔3〕 次の記述は、電波の質に関する電波法の規定である。
☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「送信設備に使用する電波の周波数の偏差及び幅、
☐ 等電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。」

1. 高調波の強度
2. 変調度
3. 空中線電力の偏差
4. 信号対雑音比

〔6〕 無線従事者がその免許を取り消された場合、無線従事者の免許が与えられないことがあるのは、取消の日からどれほどの期間か、正しいものを次のうちから選べ。

1. 6箇月
2. 1年
3. 1年6箇月
4. 2年

第三級陸上特殊無線技士試験問題

法

規

〔7〕 次の記述は、業務書類等の備付けに関する電波法の規定である。□□ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局には、正確な時計及び □□、無線業務日誌その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。」

1. 免許人の氏名又は名称を証する書類
2. 監視装置
3. 無線検査簿
4. 無線機器仕様書

〔8〕 臨時検査（電波法第73条第4項の検査）において検査されることがあるのは、次のどれか。

1. 無線従事者の知識及び技能
2. 無線従事者の資格及び員数
3. 無線従事者の勤務状況
4. 無線従事者の業務経歴

〔9〕 免許人又は登録人が電波法、放送法若しくはこれらの法律に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき、電波法の規定により、総務大臣が当該無線局に対して行うことがある処分を次のうちから選べ。

1. 再免許の拒否
2. 期間を定めた電波の型式の制限
3. 期間を定めた空中線電力の制限
4. 期間を定めた通信の相手方又は通信事項の制限

〔10〕 無線従事者が電波法に違反したとき、総務大臣から受けることがある処分は、次のどれか。

1. 無線設備の操作範囲の制限
2. 1年間の無線局の運用停止
3. 6箇月間の業務の従事停止
4. 3箇月以内の業務の従事停止

〔11〕 無線局の免許人又は登録人は、無線従事者を選任又は解任したときは、電波法の規定により、どの手続をとらなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 遅滞なくその旨を届け出る。
2. 10日以内にその旨を報告する。
3. 速やかに総務大臣の承認を受ける。
4. 適当な時期に連絡する。

〔12〕 免許人は、免許状に記載された事項に変更を生じたときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 直ちに届け出る。
2. その旨を報告する。
3. 再免許を申請する。
4. 免許状の訂正を受ける。